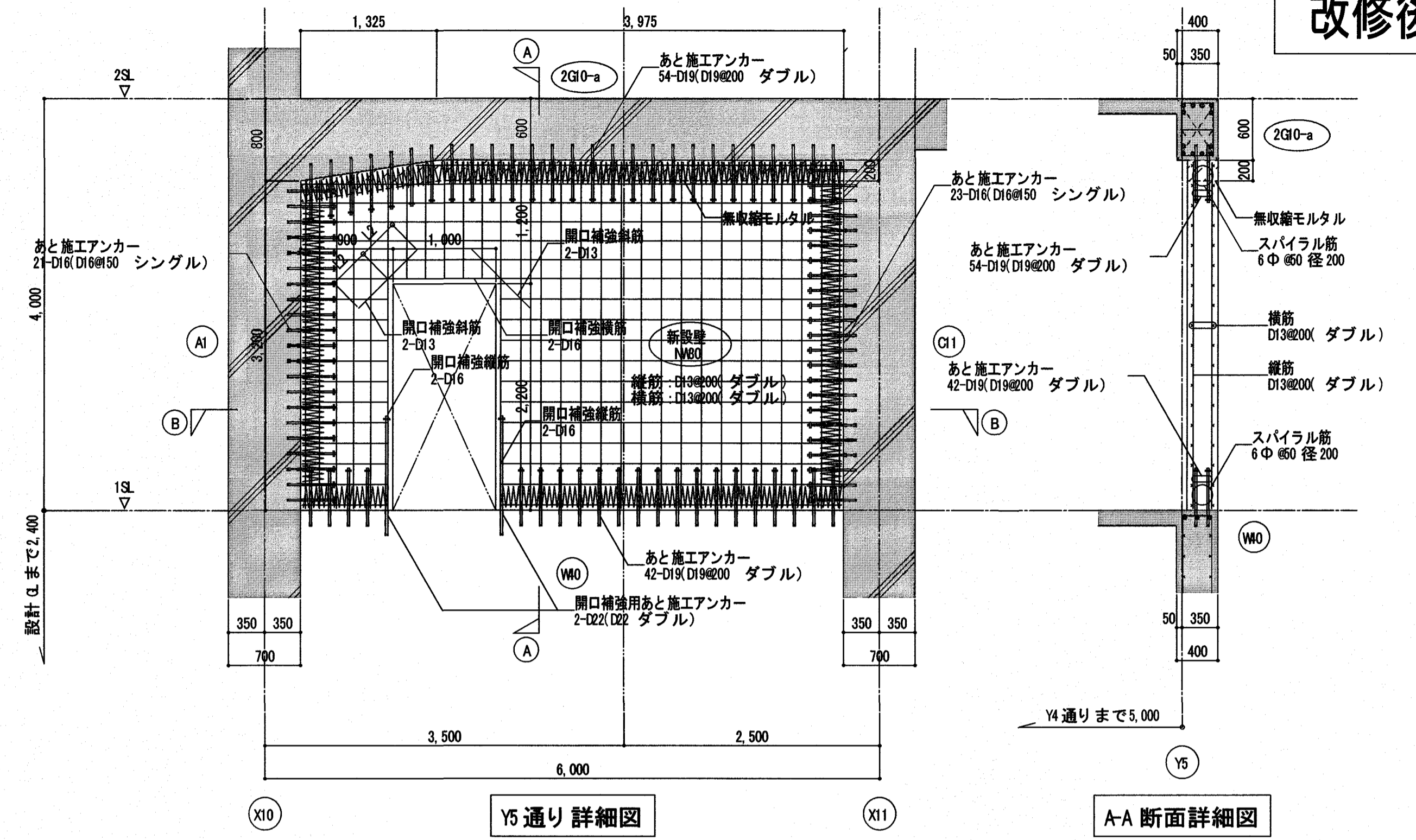
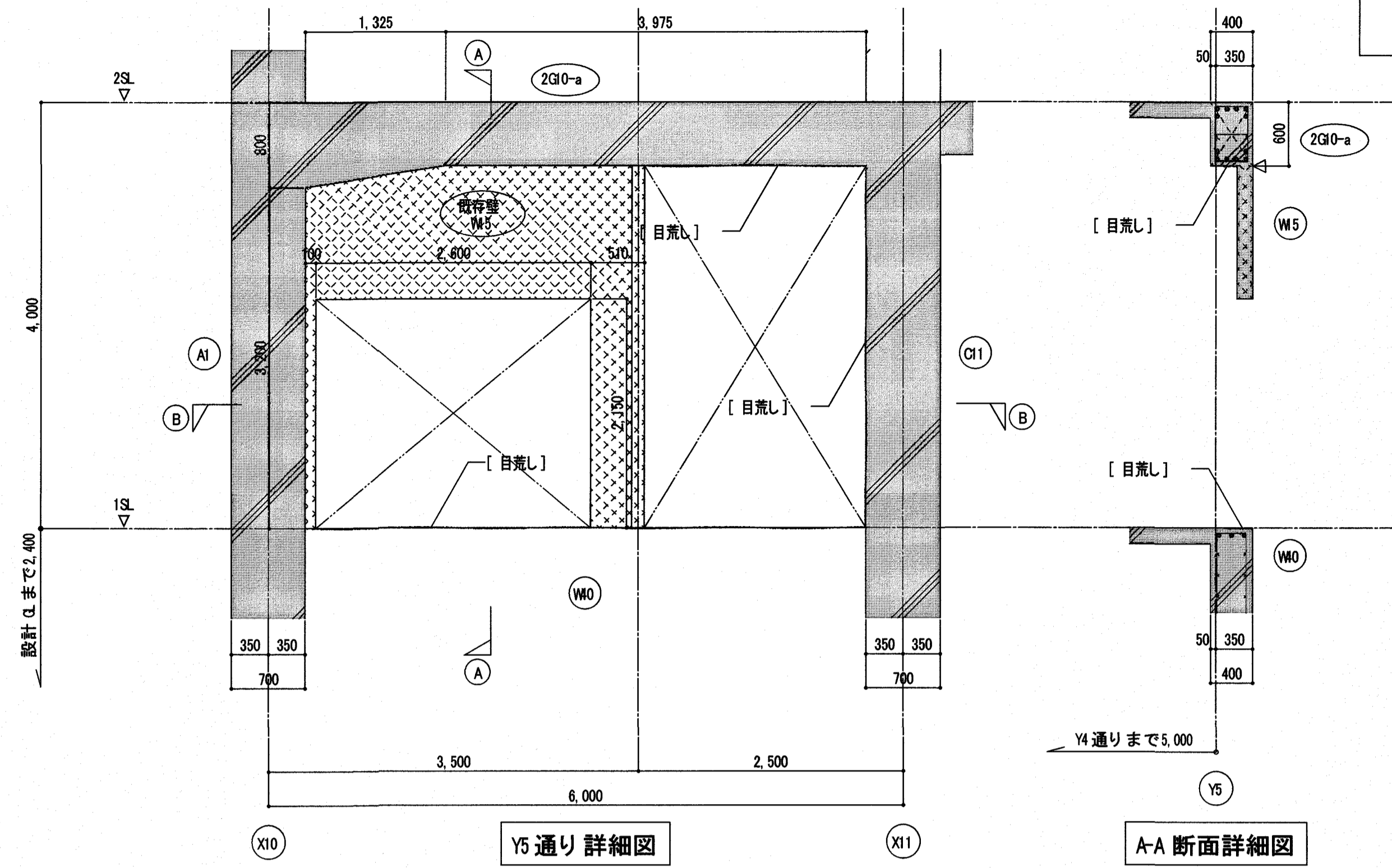


改修前

改修後



既存柱リスト

符号	AI	CI1
1階		
Dx × Dy	700×1000	700×700
主筋	32-D25	12-D25
フープ	□-D13#100	□-D13#100
備考		

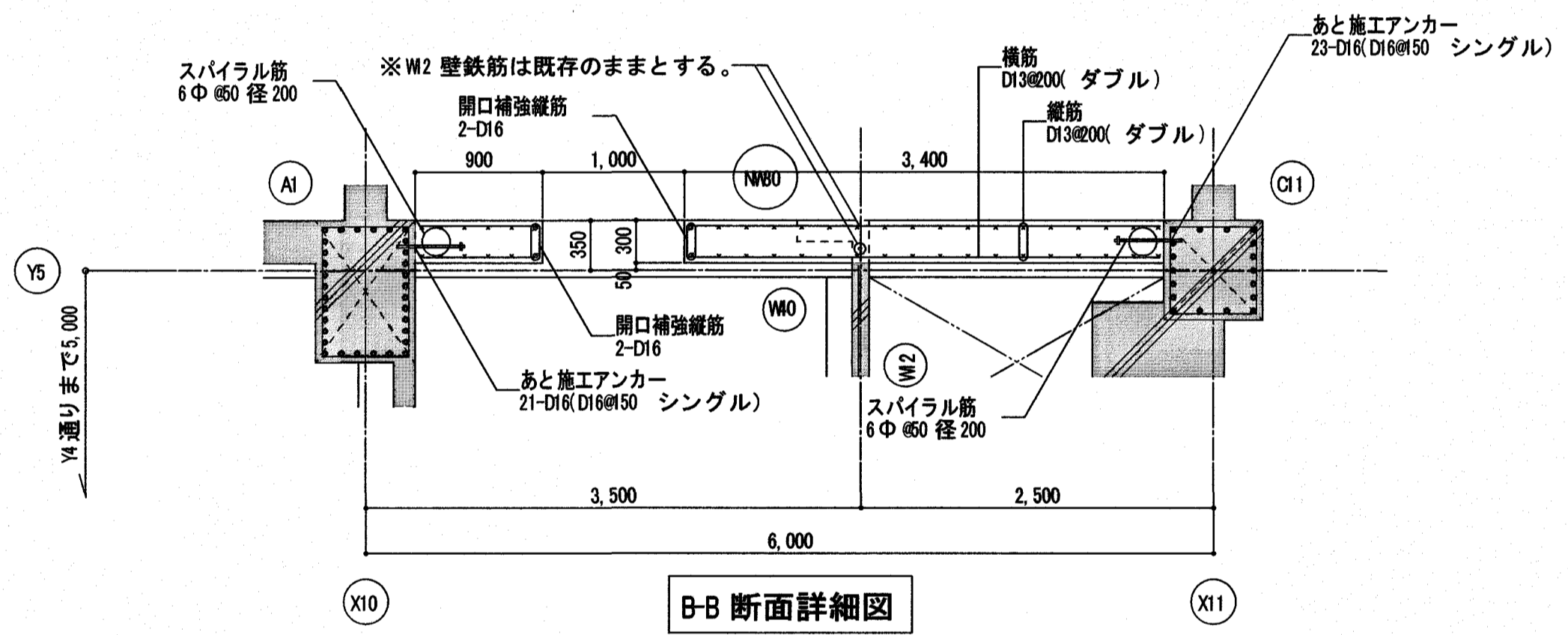
既存大梁リスト

符号	GI5		
位置	X10通り端	中央	X11通り端
2階			
B × D	400×600		
上端筋	8-D25	6-D25	3-D25
下端筋	7-D25	6-D25	3-D25
スタラップ	□-D13#100		
腹筋	2-D13		
備考			

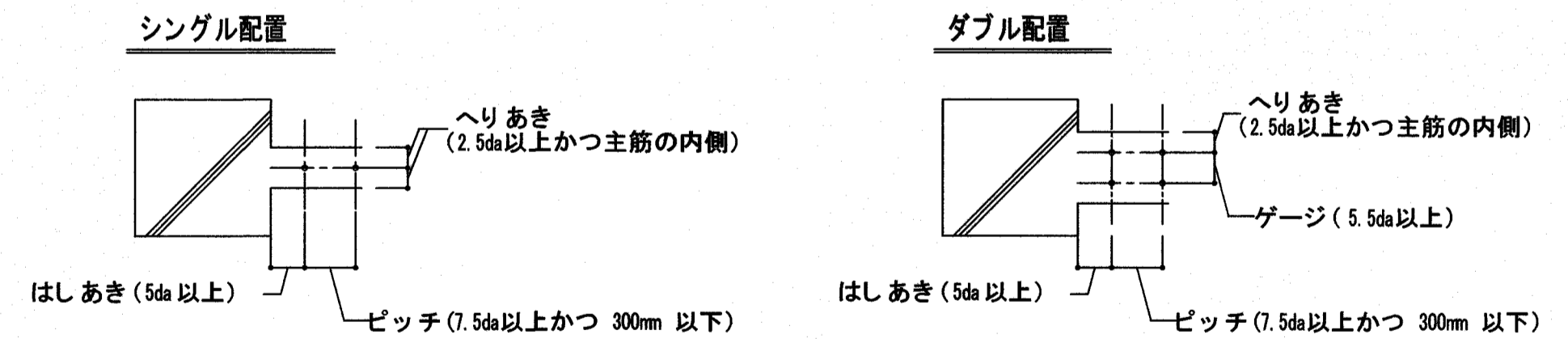
既存壁リスト

符号	W2	W5	W40
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
縦筋	D10#250(シングル)	D10#800(チドリ)	D13#200(ダブル)
横筋	D10#250(シングル)	D10#800(チドリ)	D13#200(ダブル)
巾止め筋	-	-	-
備考			

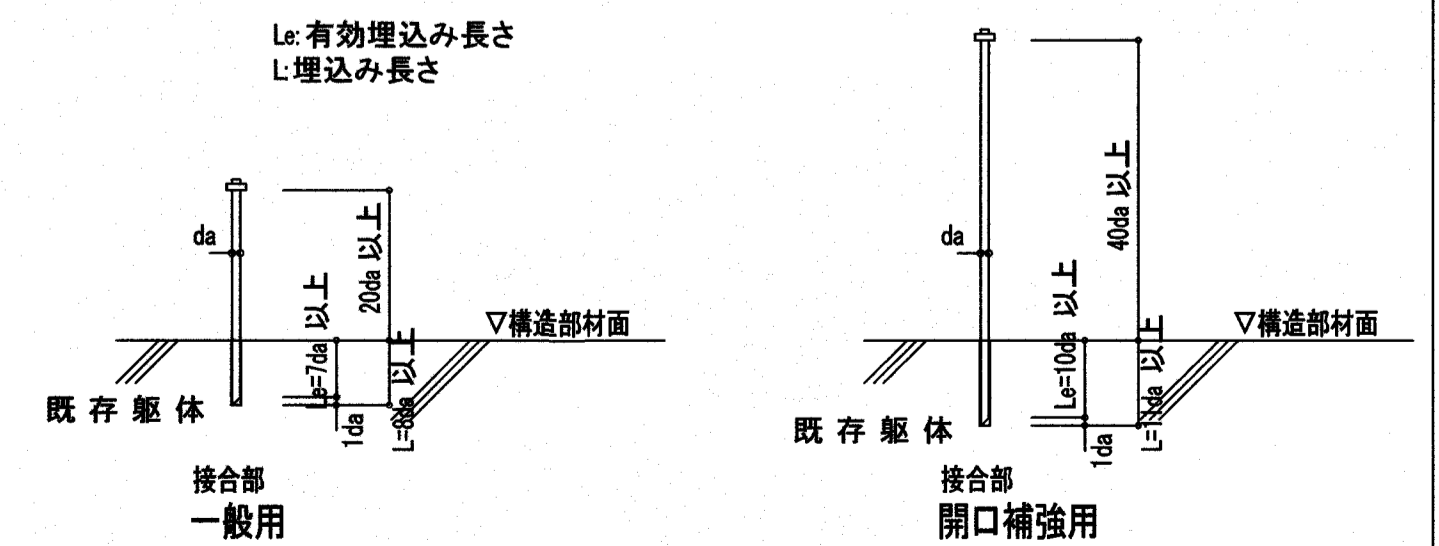
- 注記 特記なき限り下記による
- は既存躯体を示す。
 - は撤去範囲を示す。
 - [] 内は、改修内容を示す。
 - ▽ はカッター入れを示す。
 - 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水濡しを行うこと。



あと施工アンカー間隔



あと施工アンカー定着・埋め込み長さ



- 注記 特記なき限り下記による
- コンクリート強度 $F_c=24N/mm^2$ スランプ18cmとする。
 - 使用鉄筋は、6Φ: S235、D16以下: S295、D19以上: S345とする。
 - は既存躯体を示す。
 - あと施工アンカーは、ナット付きとする。
 - あと施工アンカーは接着系とし、接着剤の品質は有機系とする。
 - あと施工アンカーの打設部位については、既存躯体の鉄筋位置を調査する事。
 - 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水濡しを行うこと。

受注者

株式会社日産技術コンサルタント
 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号
 大阪府中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311
 管理技術者 国松 幹央 一級建築士登録 第229478号

工事名

潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事 (R6-1)

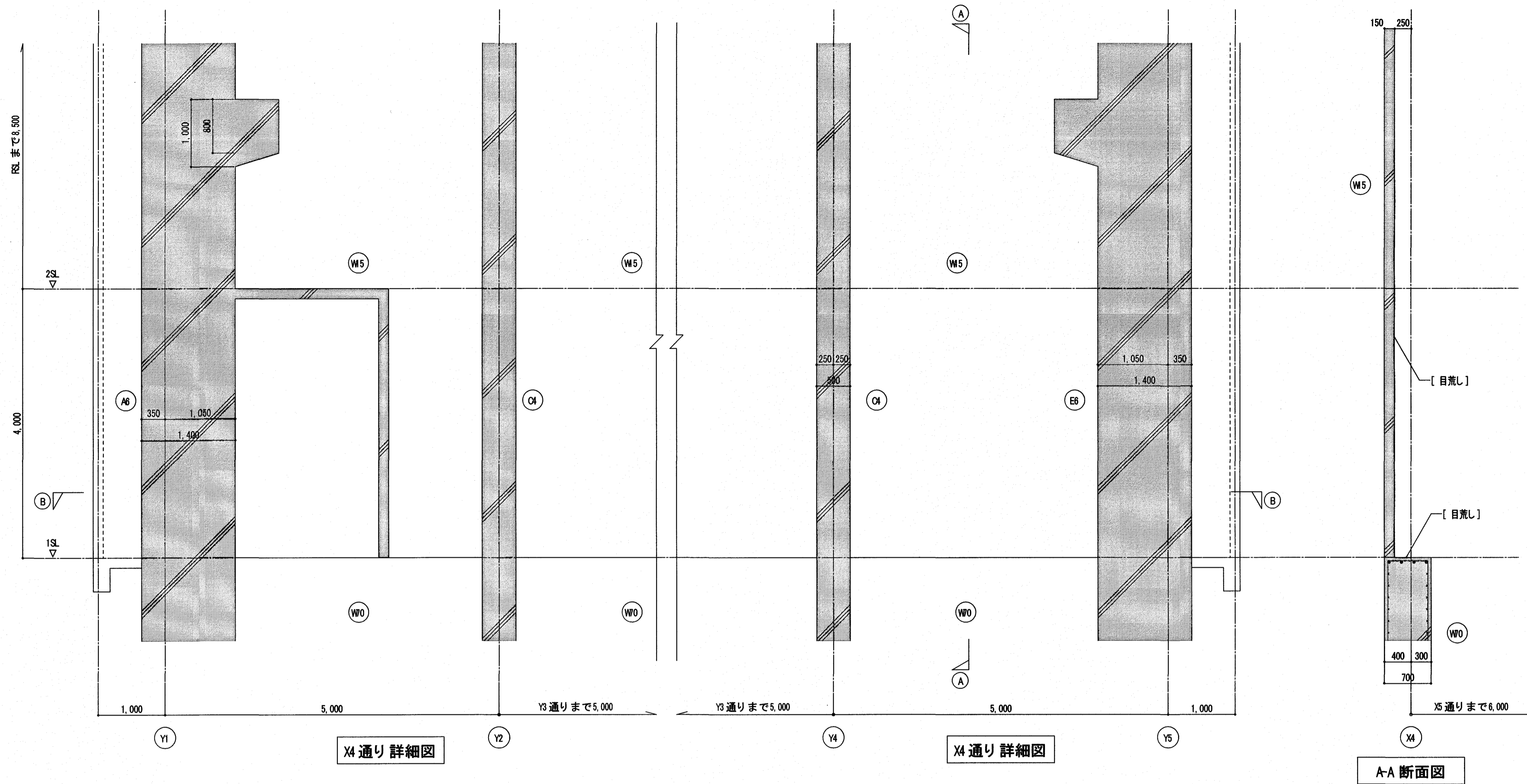
図面名 補強詳細図 (7)

縮尺 1/40

係長 課長 主任 技師

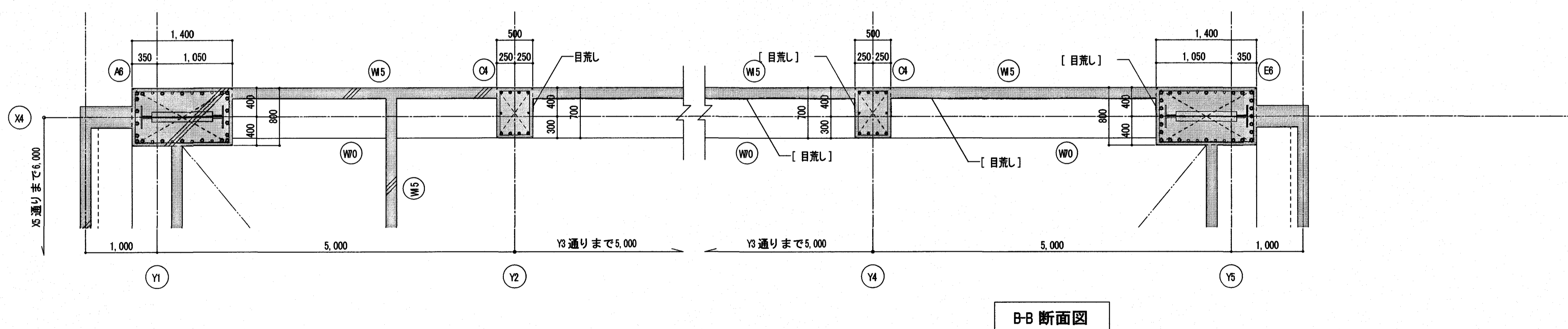
作図 年 月 日

図面番号 S-32



既存壁リスト

符号	W5	W0
位置	全断面	全断面
断面		
縦筋	D10#300(チドリ)	D13#200(ダブル)
横筋	D10#300(チドリ)	D13#200(ダブル)
巾止め筋	-	-
備考		



既存柱リスト

符号	C4	A6	E6
1階(柱頭)			
Dx × Dy	700x500	800x1400	800x1400
主筋	8-D25+2-D16	18-D32+8-D22	18-D32+8-D22
フープ	□-D10#100	□-D13#100	□-D13#100
主材		4L-150x150x6	4L-150x150x6
ラチス材		2L-65x65x6	2L-65x65x6
備考			
1階(柱脚)			
Dx × Dy	700x500	800x1400	800x1400
主筋	8-D25+2-D16	22-D32+8-D22	24-D32+8-D22
フープ	□-D10#100	□-D13#100	□-D13#100
主材		4L-150x150x6	4L-150x150x6
ラチス材		2L-65x65x6	2L-65x65x6
備考			

注記 特記なき限り下記による

1. は既存躯体を示す。
2. は撤去範囲を示す。
3. [] 内は、改修内容を示す。
4. 補強部材と既存コンクリート躯体との接合面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。
5. 「増設壁W5+25」補強要領について、X4通りY1~Y3通りについても本図面と同要領とする。

受注者

株式会社日産技術コンサルタント
 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号
 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311
 管理技術者 国松 幹央 一級建築士登録 第229478号

工事名

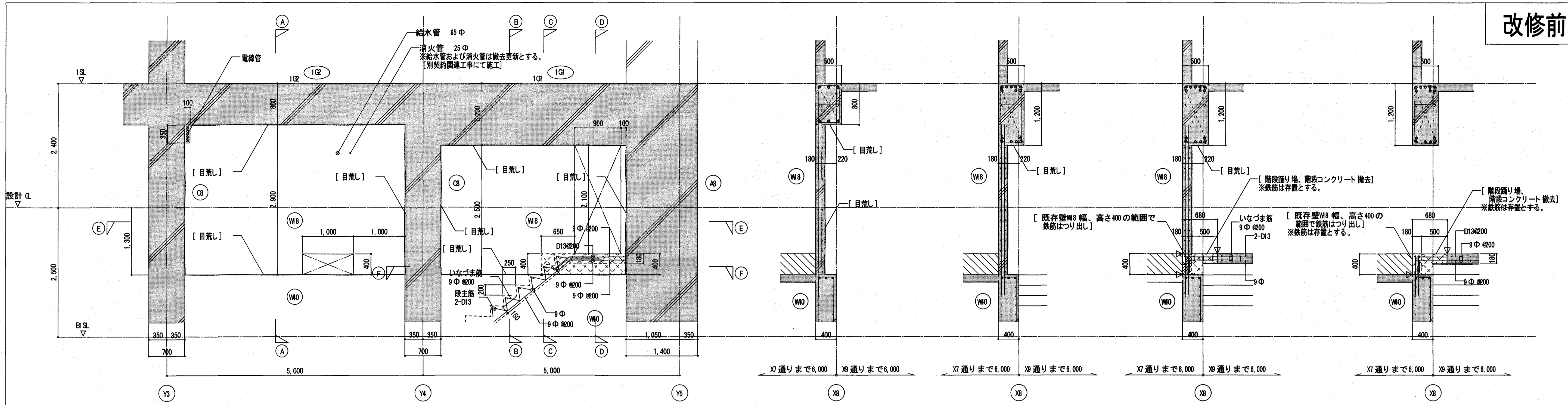
潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事(R6-1)

図面名 補強詳細図(8)

縮尺 1/40

係 係長 課長補佐 課長 図面番号

作図 年 月 日 S-33



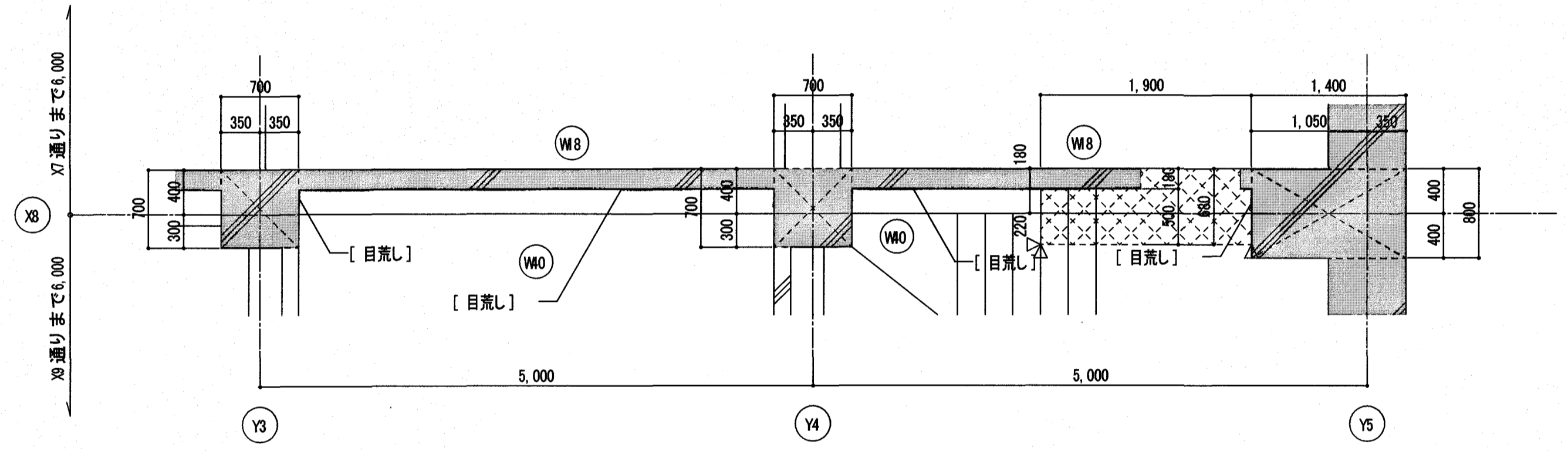
X8 通り詳細図

A-A 断面図

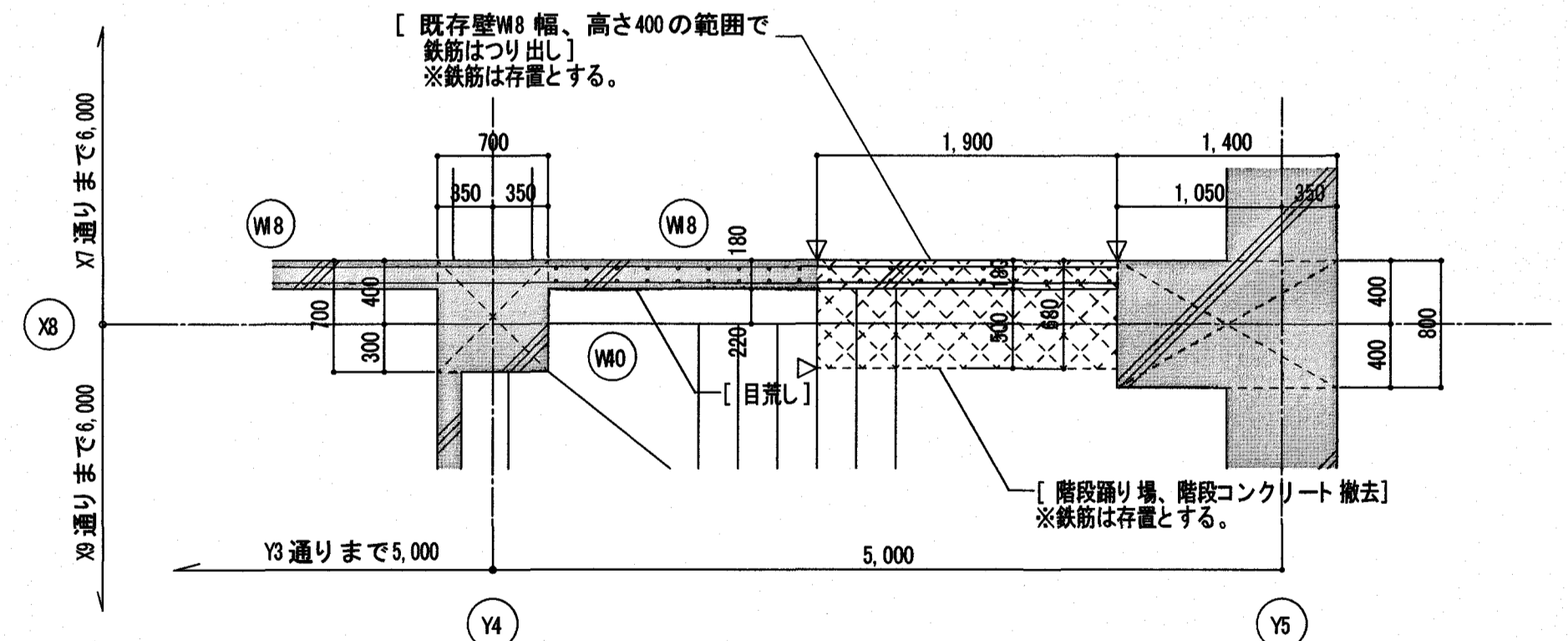
B-B 断面図

C-C 断面図

D-D 断面図



E-E 断面図



F-F 断面図

既存柱リスト

符号	WB	W0
位置	地下1階	地下1階
Dx × Dy	800×1400	700×700
主筋	22-D32×8-D22	8-D32
フープ	□-D13#100	□-D13#100
備考		

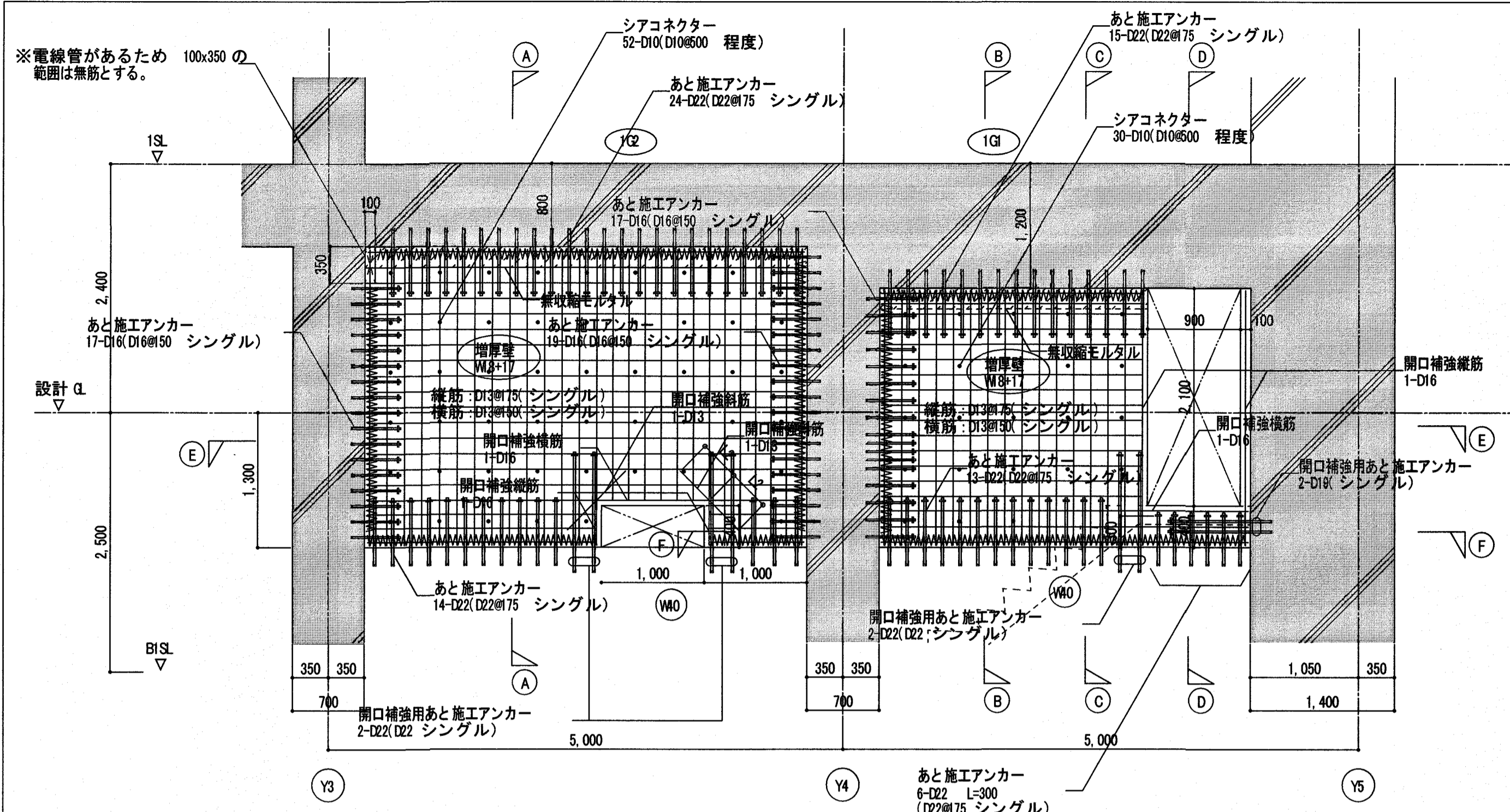
既存大梁リスト

符号	G1			G2
	Y4端	中央	Y5端	全断面
位置	1階	1階	1階	1階
B × D	500×1200			500×800
上端筋	9-D32	7-D32	4-D32	3-D32
下端筋	7-D32	6-D32	4-D32	3-D32
スタラップ	□-D13#100			□-D13#200
腹筋	4-D13			2-D13
備考				

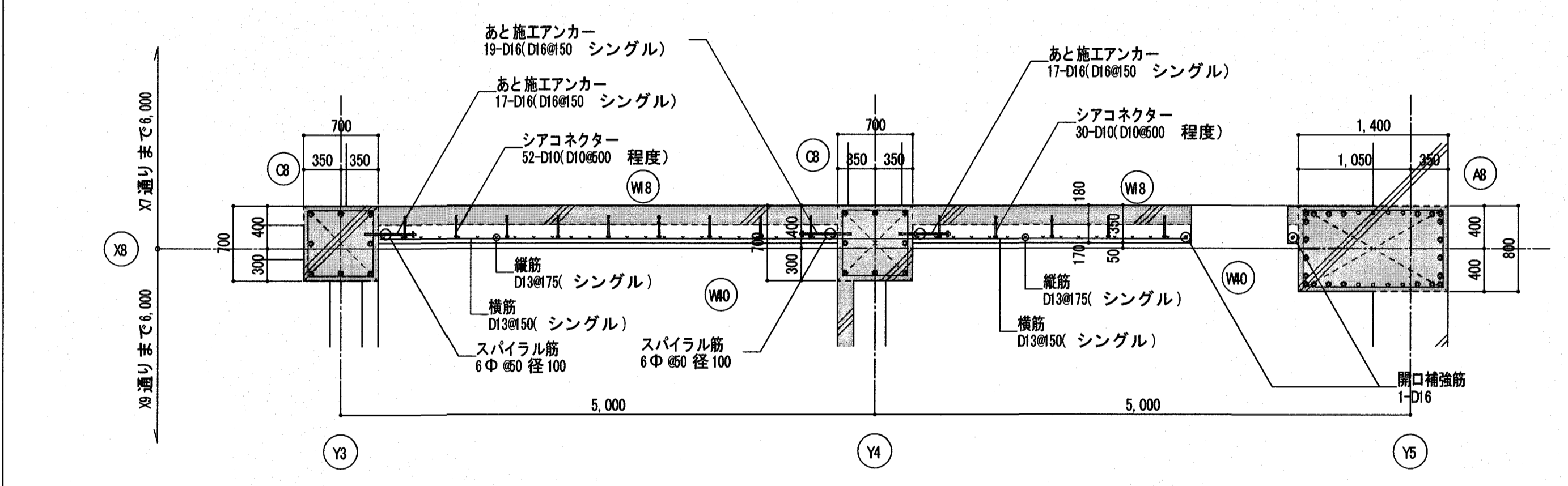
既存壁リスト

符号	WB	W0
位置	全断面	全断面
断面	180	400
縦筋	D10#200 (ダブル)	D13#200 (ダブル)
横筋	D10#200 (ダブル)	D13#200 (ダブル)
巾止め筋	-	-
備考		

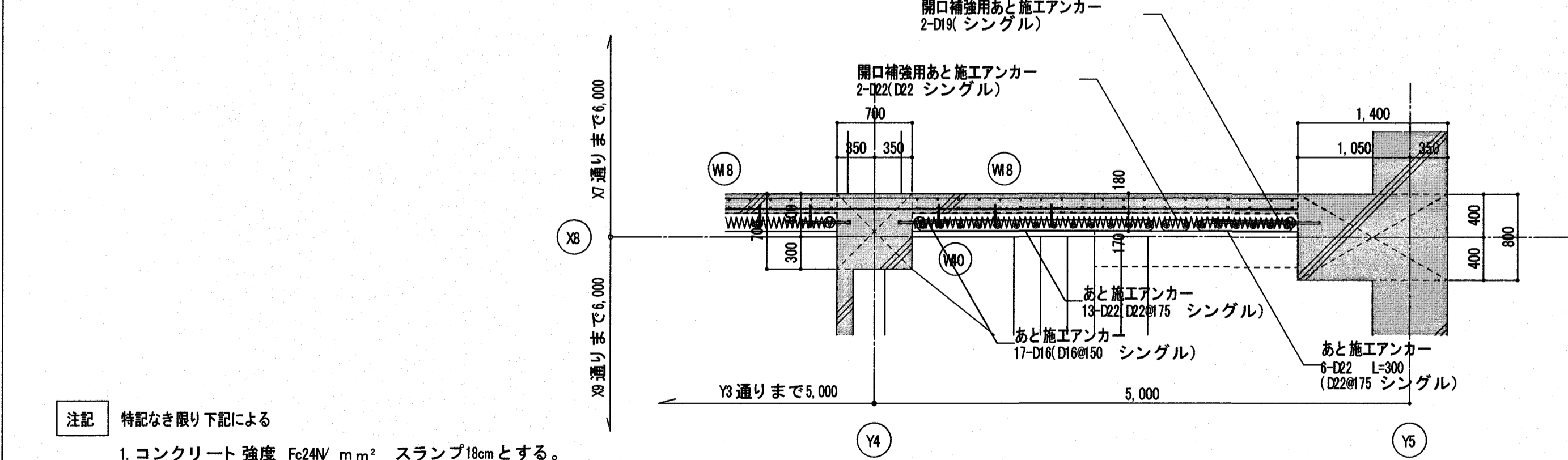
- 注記 特記なき限り下記による
- は既存躯体を示す。
 - は撤去範囲を示す。
 - [] 内は、改修内容を示す。
 - ▽ はカッター入れを示す。
 - 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水濡しを行うこと。



X8通り詳細図

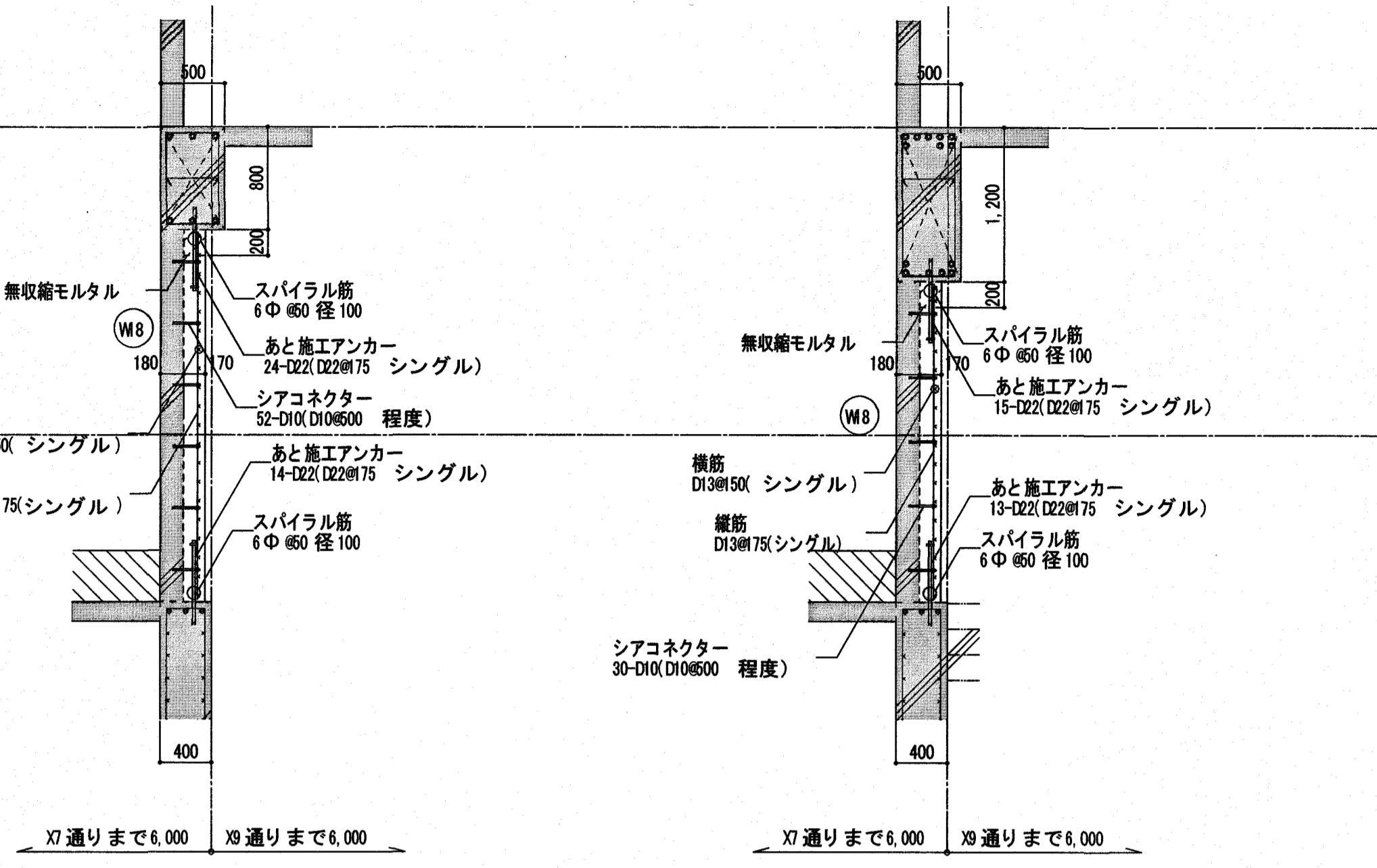


E-E断面図



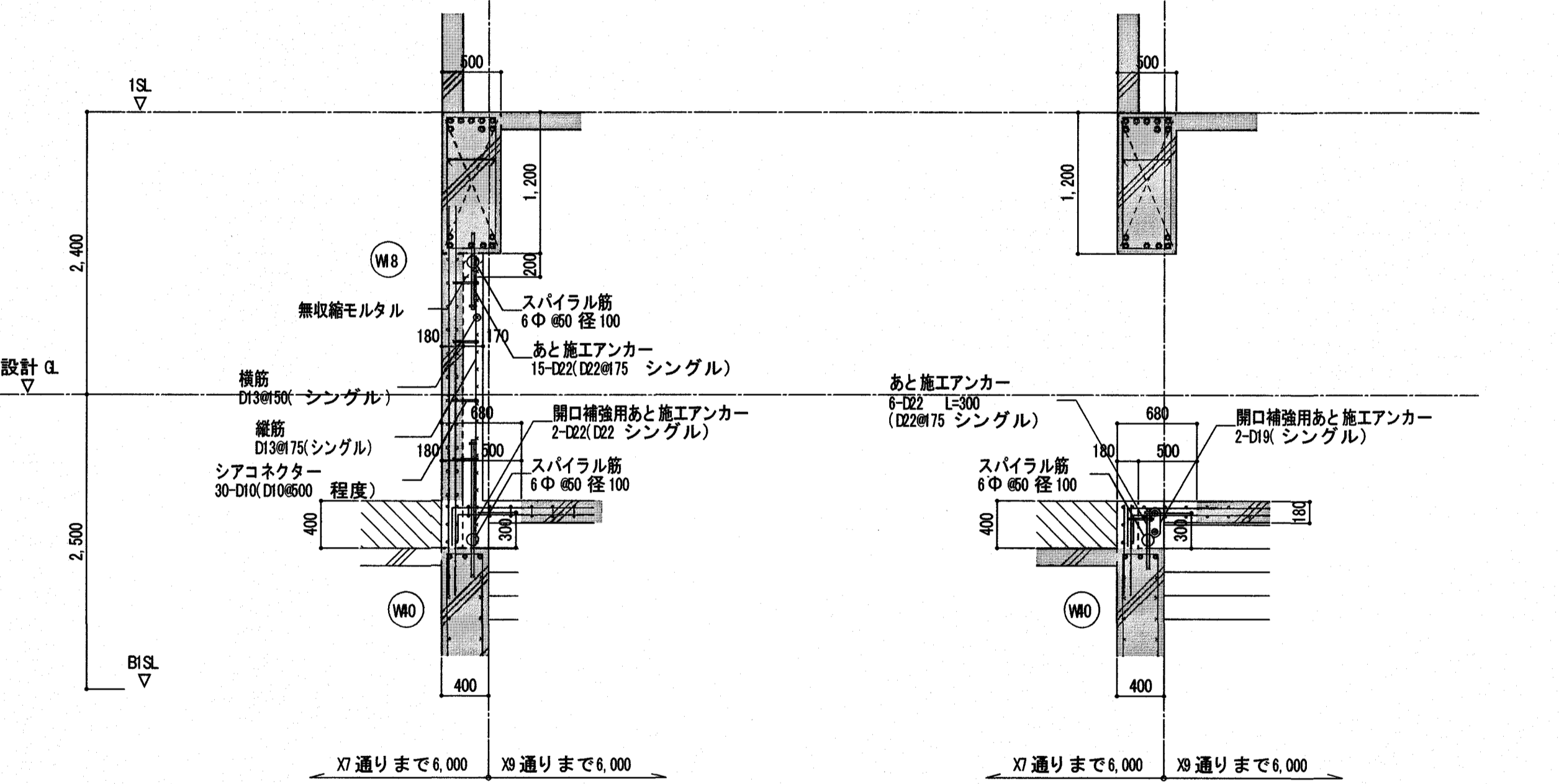
F-F断面図

- 注記 特記なき限り下記による
1. コンクリート強度 $F_c 24N/m^2$ スラブ厚18cmとする。
 2. 使用鉄筋は、6φ: S235、D16以下: S295、D19以上: S335とする。
 3. は既存躯体を示す。
 4. あと施工アンカーは、ナット付きとする。
 5. あと施工アンカーは接着系とし、接着剤の品質は有機系とする。
 6. あと施工アンカーの打設部位については、既存躯体の鉄筋位置を調査する事。
 7. 補強部材と既存コンクリート躯体との接合面については 既存コンクリート躯体面を直視とし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。



A-A断面図

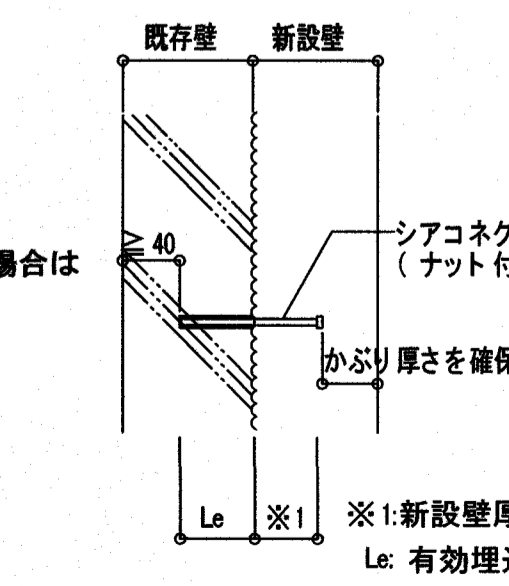
B-B断面図



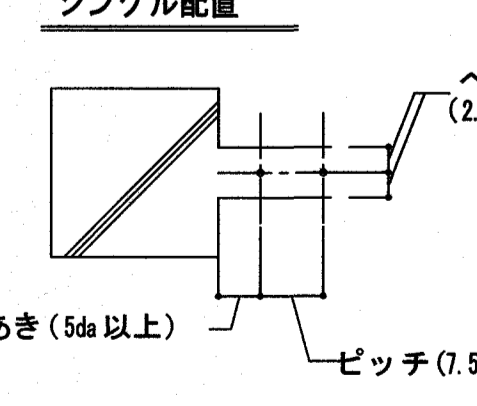
C-C断面図

D-D断面図

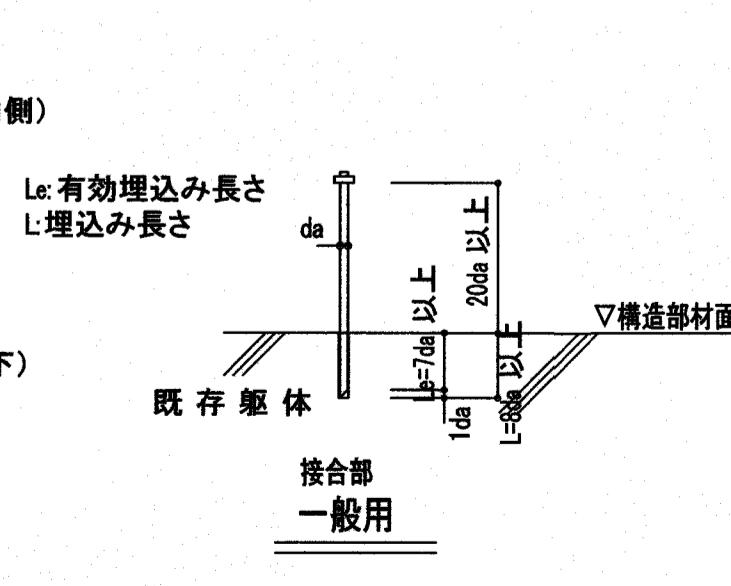
シアコネクター施工要領図



あと施工アンカー間隔



あと施工アンカー定着・埋め込み長さ



シアコネクターは接着系アンカーとし、D10#50(タテヨコ以内とする)。

受注者	株式会社日産技術コンサルタント	工事名	潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事 (R6-1)	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311 管理技術者 国松 幹夫 一級建築士登録 第229478号	図面名	補強詳細図(11)	縮尺	1/40	作図	年 月 日	S-36

既存柱リスト

符号	EI	GI0
2階		
Dx × Dy	700×1000	700×700
主筋	32-D25	8-D25
フープ	□-D13#100	□-D13#100
備考		
1階		
Dx × Dy	700×1000	700×700
主筋	32-D25	8-D25
フープ	□-D13#100	□-D13#100
備考		
地下1階		
Dx × Dy	700×1000	700×700
主筋	22-D25	8-D25
フープ	□-D13#100	□-D13#100
主材		
ラチス材		
備考		

既存大梁リスト

符号 位置	G6			G7		G7
	外端	中央	内端	端部	中央	全断面
R階						
B × D	400×800			400×800		400×800
上端筋	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25	2-D25	3-D25
下端筋	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
スタラップ	□-D13#200			□-D13#200		□-D13#200
腹筋	2-D13			2-D13		2-D13
備考						
2階						
B × D	350×600			350×600		
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
スタラップ	□-D13#200			□-D13#200		
腹筋	2-D13			2-D13		
備考						
1階						
B × D	400×800			400×800		
上端筋	4-D25	3-D25	4-D25	4-D25	2-D25	
下端筋	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	
スタラップ	□-D13#200			□-D13#200		
腹筋	2-D13			2-D13		
備考						
地下1階						
B × D	400×1000			400×1000		
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
スタラップ	□-D13#200			□-D13#200		
腹筋	2-D13			2-D13		
備考						

既存壁リスト

符号 位置	WS
断面	
縦筋	D10#300(チドリ)
横筋	D10#300(チドリ)
巾止め筋	-
備考	

受注者

株式会社日産技術コンサルタント
 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号
 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311
 管理技術者 国松 幹央 一級建築士登録 第229478号

工事名

潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事(R6-1)

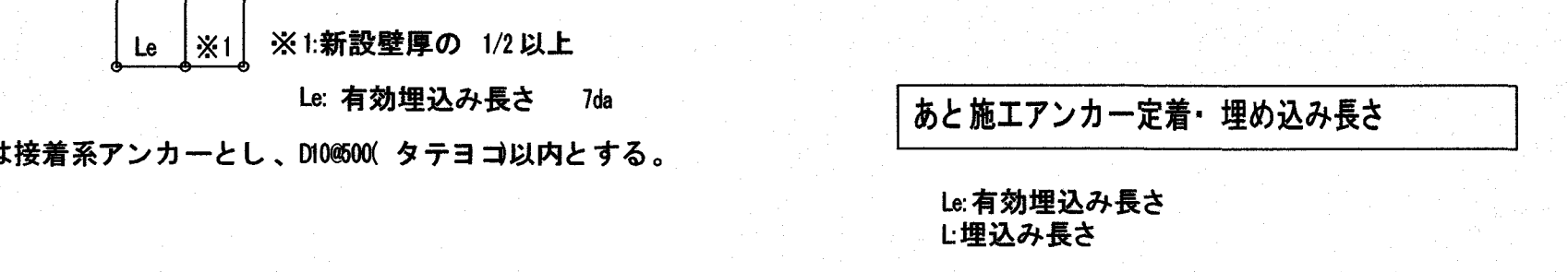
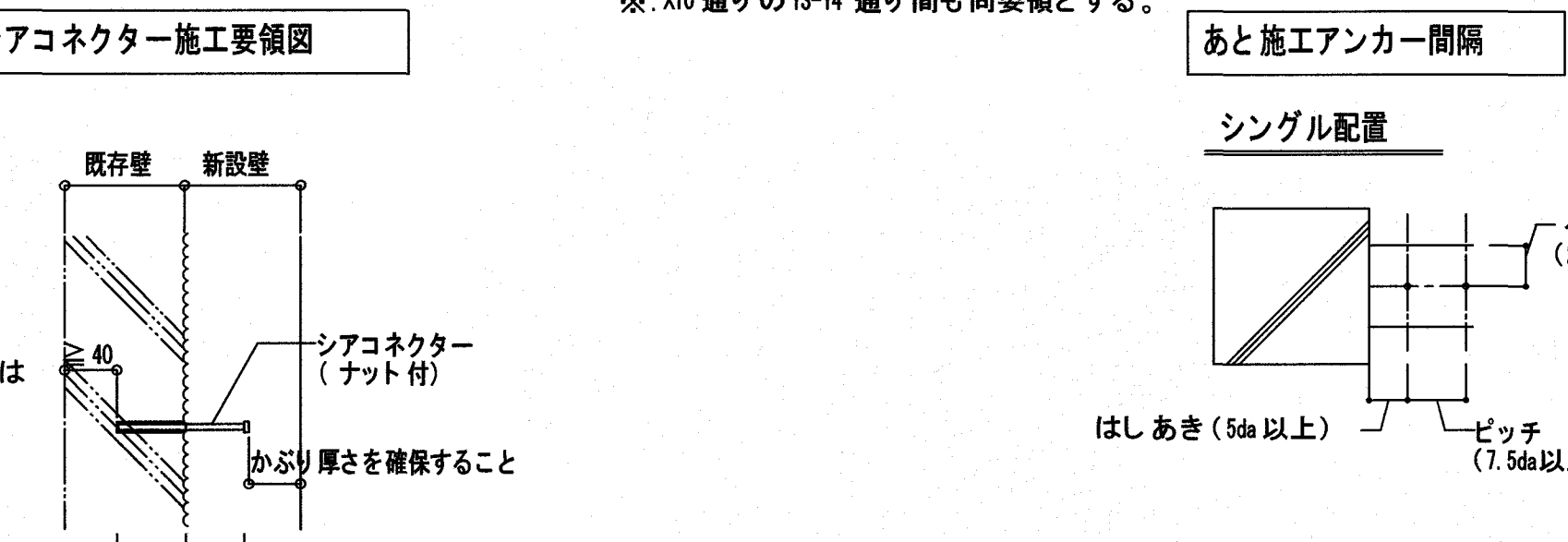
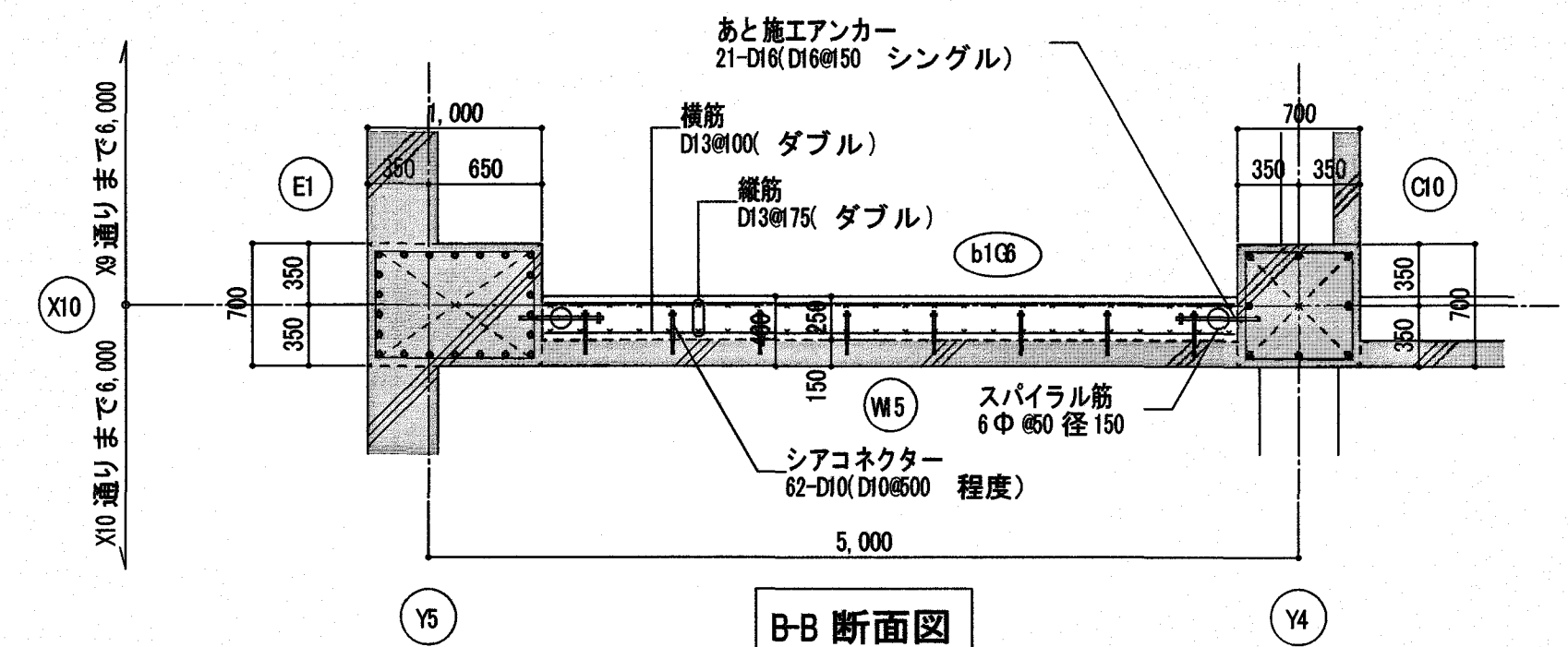
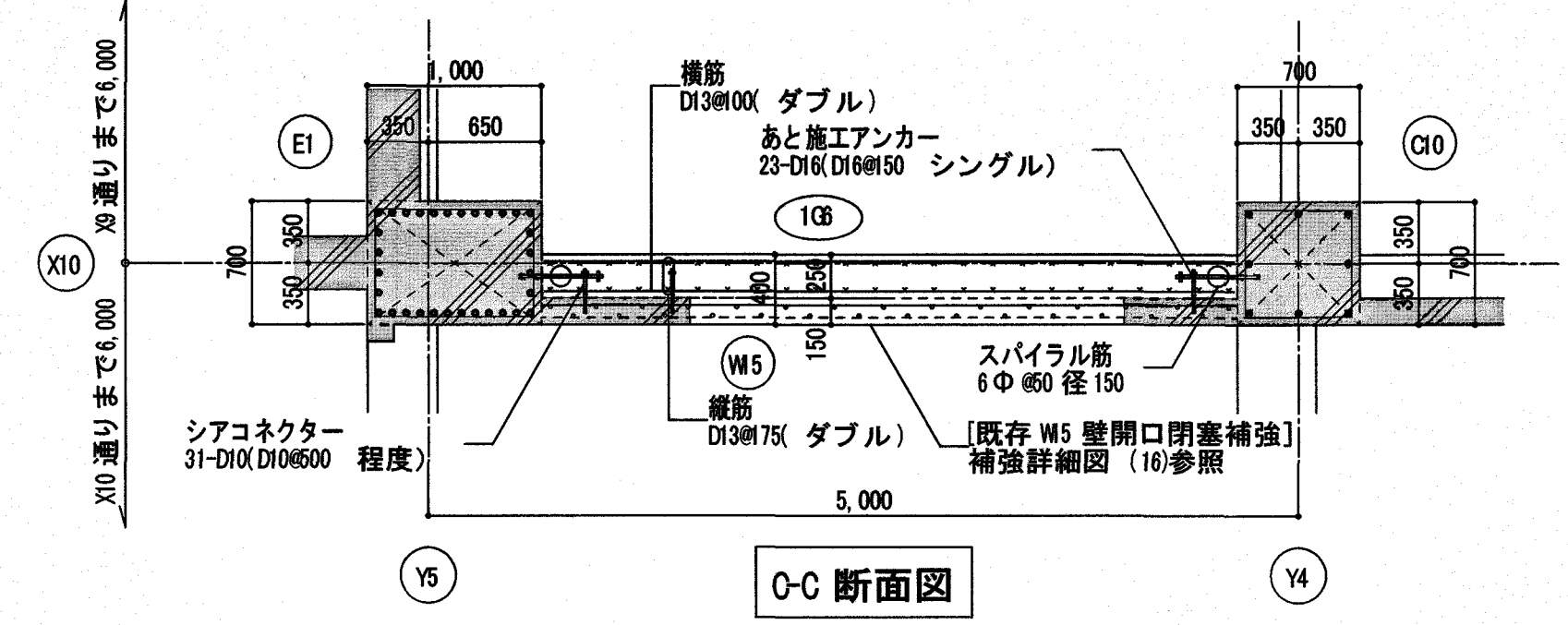
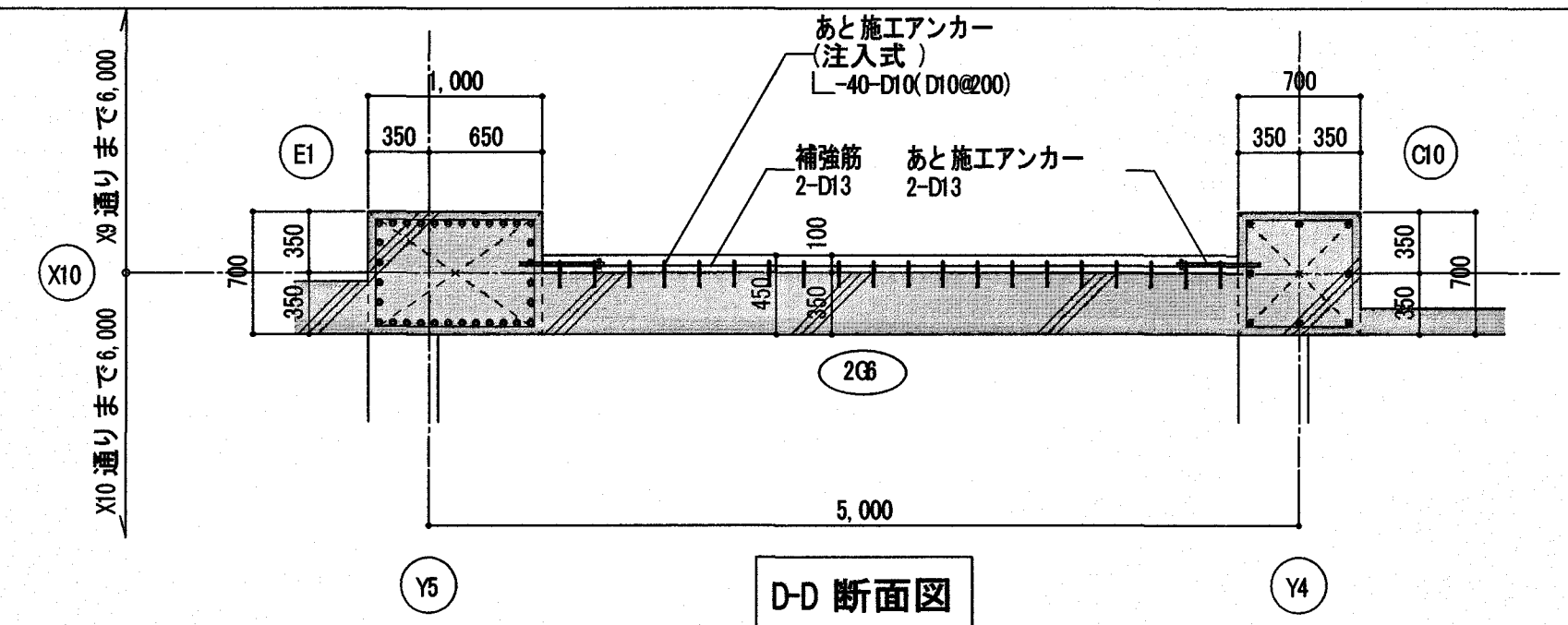
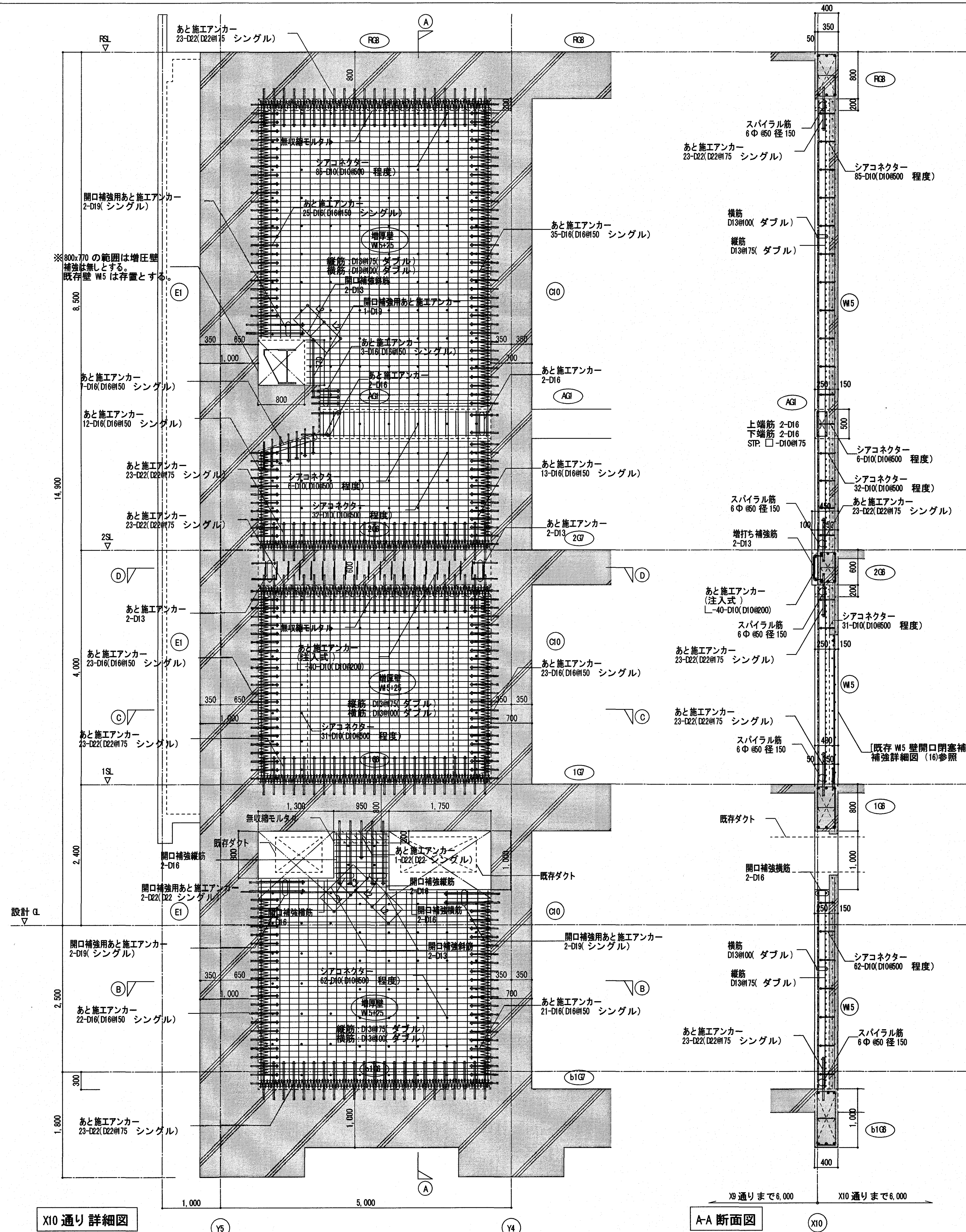
図面名 補強詳細図(14)

縮尺 1/40

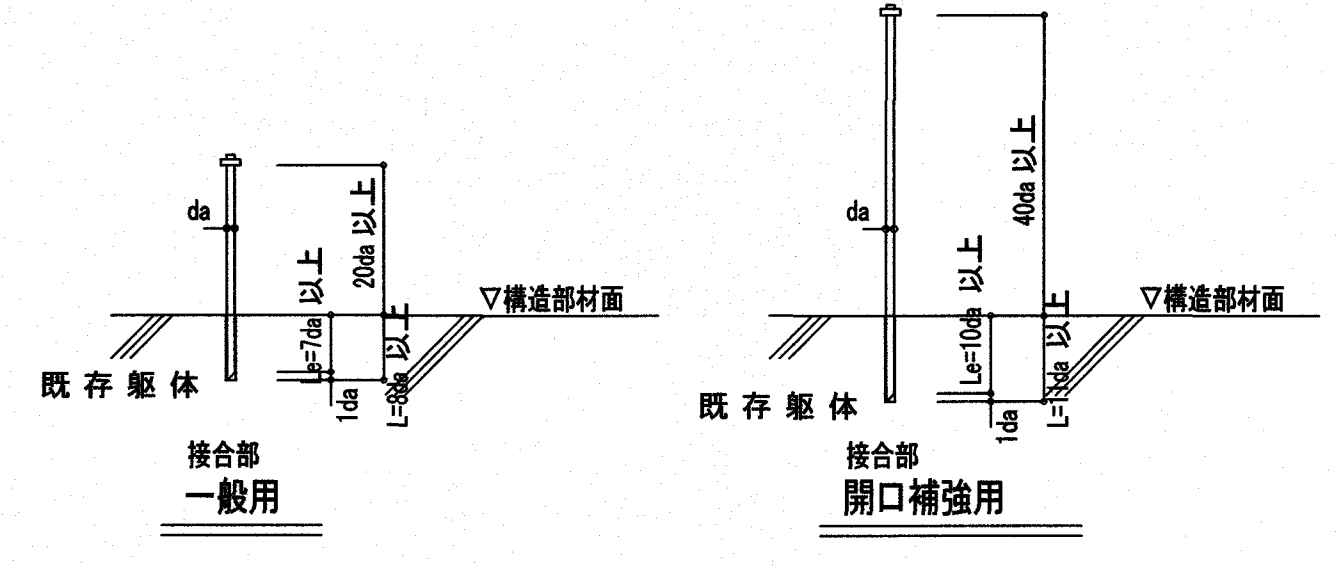
係 係長 課長補佐 課長 図面番号

作 年 月 日 S-39

改修後



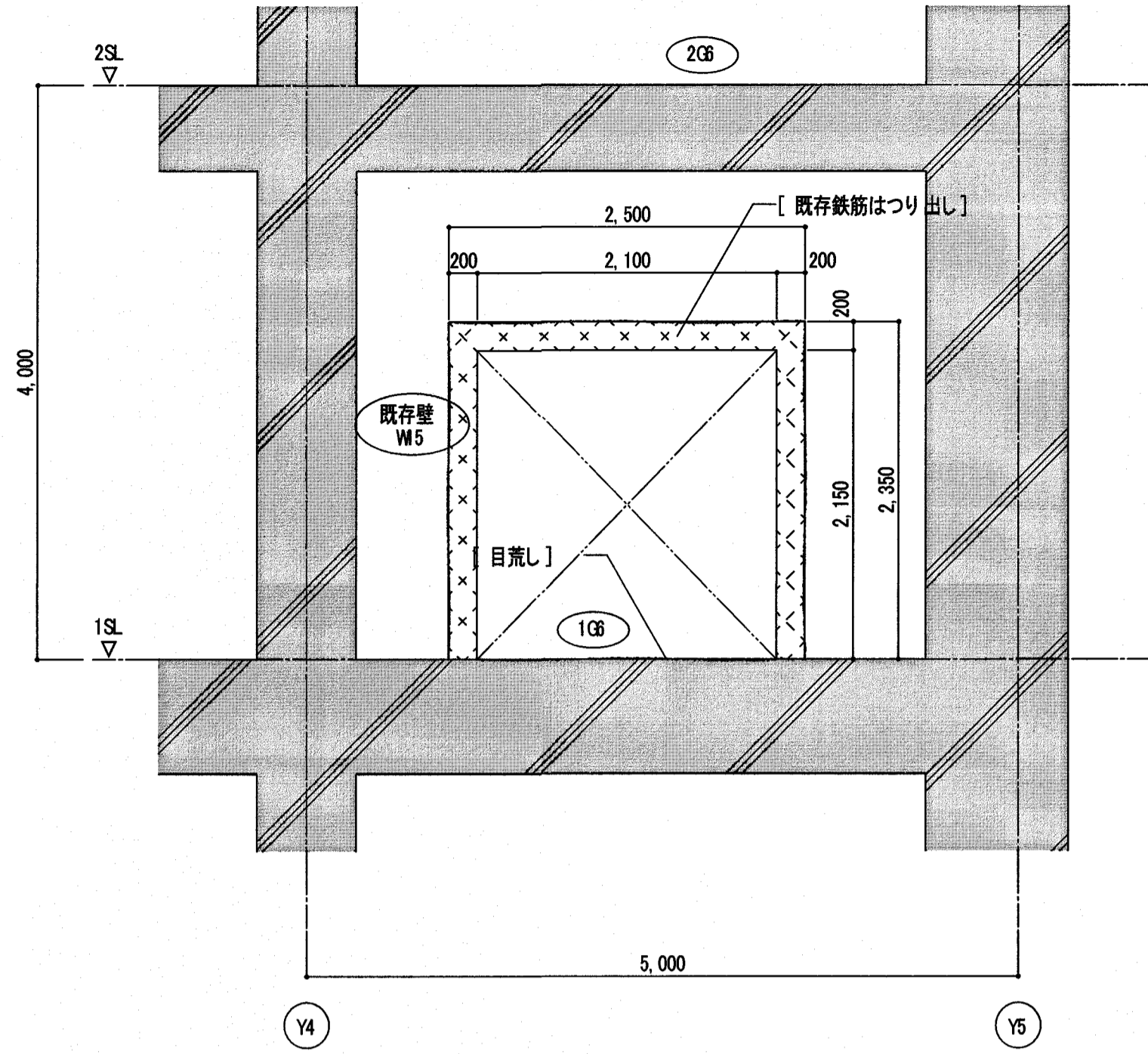
- 注記 特記なき限り下記による
1. コンクリート強度 $F_c 24 \text{ N/mm}^2$ スラパン 18 cm とする。
 2. 使用鉄筋は、 6ϕ : S235, $D16$ 以下: S295, $D19$ 以上: S345 とする。
 3. は既存躯体を示す。
 4. あと施工アンカーは、ナット付きとする。
 5. あと施工アンカーは接着系とし、接着剤の品質は有機系とする。
 6. 特記なきあと施工アンカーは回転・打撃式とする。
(※ 施工が困難な箇所で一部注入式あと施工アンカー使用)
 7. あと施工アンカーの打設部位については、既存躯体の鉄筋位置を調査する事。
 8. 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を旨とし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水廻しを行うこと。
 9. 「RC 壁増打ち」補強について、X10 通りの Y3-Y4 通り間の 1 階及び 2 階についても本詳細図と同要領とする。



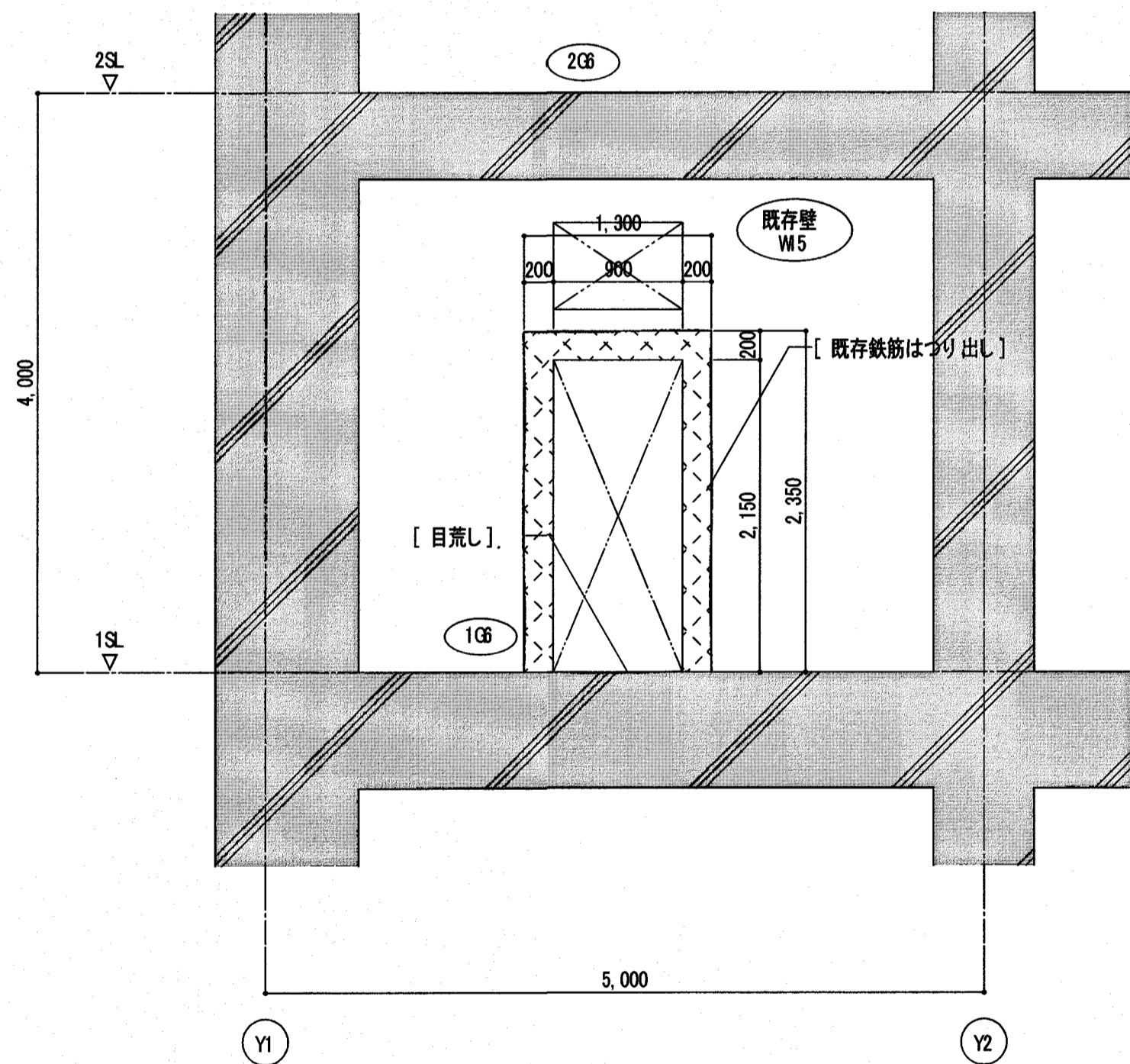
X10 通り詳細図

A-A 断面図

受注者	株式会社日産技術コンサルタント	工事名	潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事 (R6-1)	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311 管理技術者 国松 幹一 一級建築士登録 第229478号	図面名	補強詳細図(15)	縮尺	1/40	作図	年 月 日	S-40



X10 通り詳細図



X10 通り詳細図

注記 特記なき限り下記による

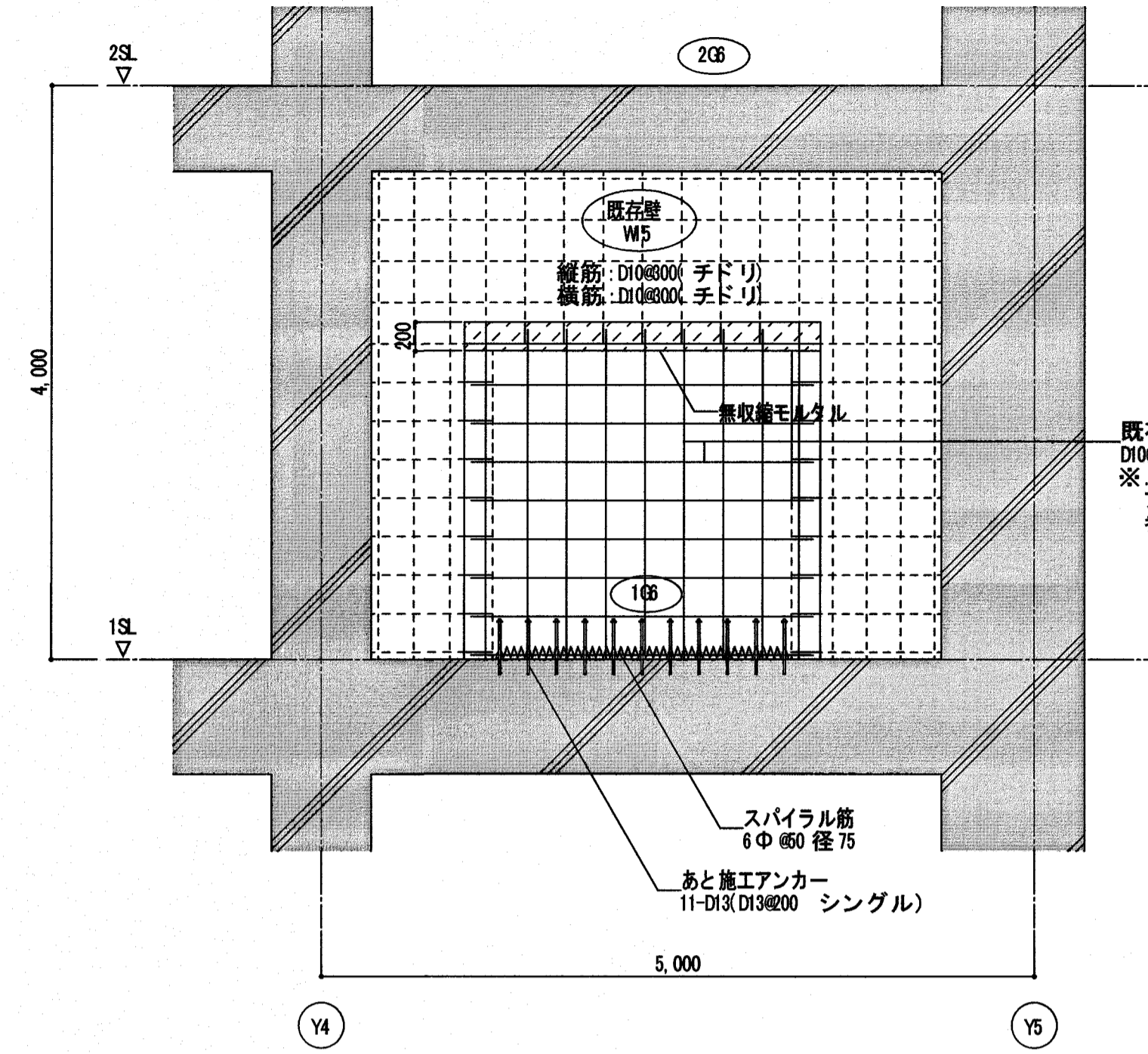
1. は既存躯体を示す。
2. は撤去範囲を示す。
3. [] 内は、改修内容を示す。
4. 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。

既存大梁リスト

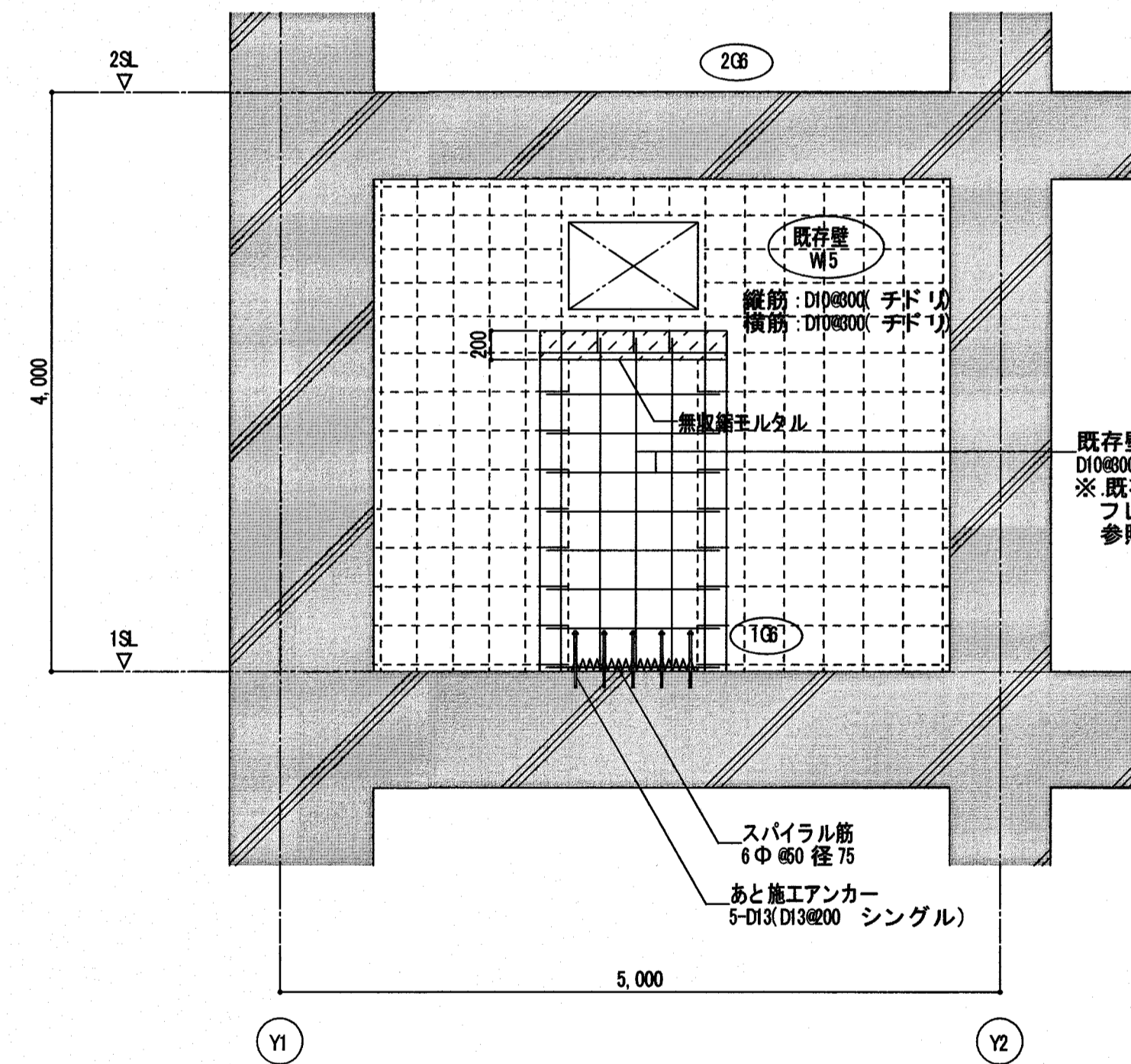
符号	G6	
	端部	中央
1階		
B × D	400×800	400×800
上端筋	4-D25	3-D25
下端筋	3-D25	3-D25
スタラップ	□-D13φ200	
腹筋	2-D13	
備考		

既存壁リスト

符号	W5	
	全断面	
断面		
縦筋	D10φ800(チドリ)	
横筋	D10φ800(チドリ)	
巾止め筋	-	
備考		



X10 通り詳細図

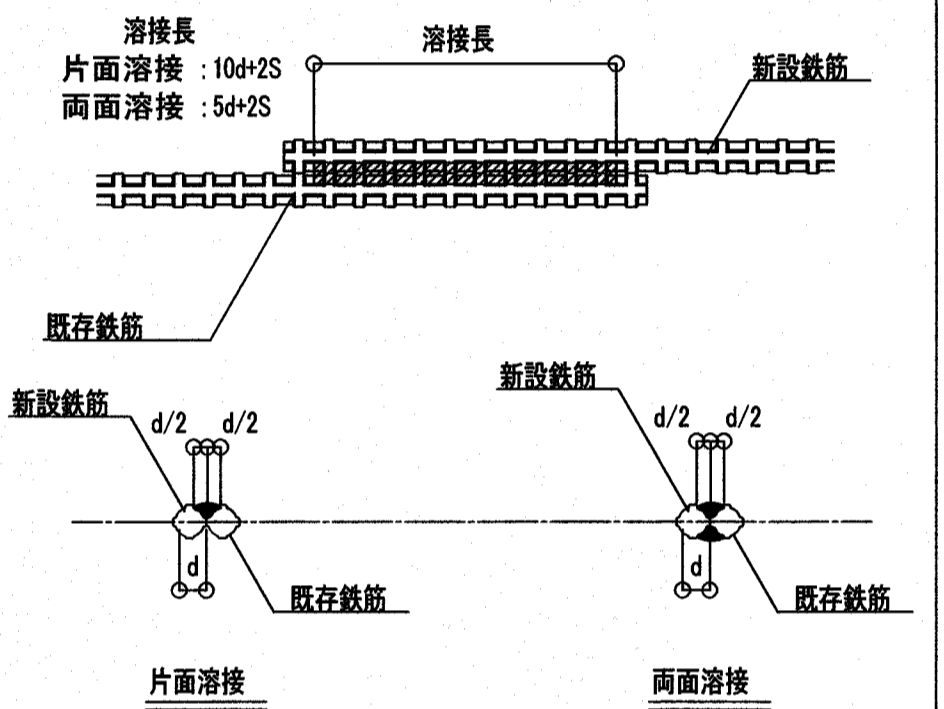


X10 通り詳細図

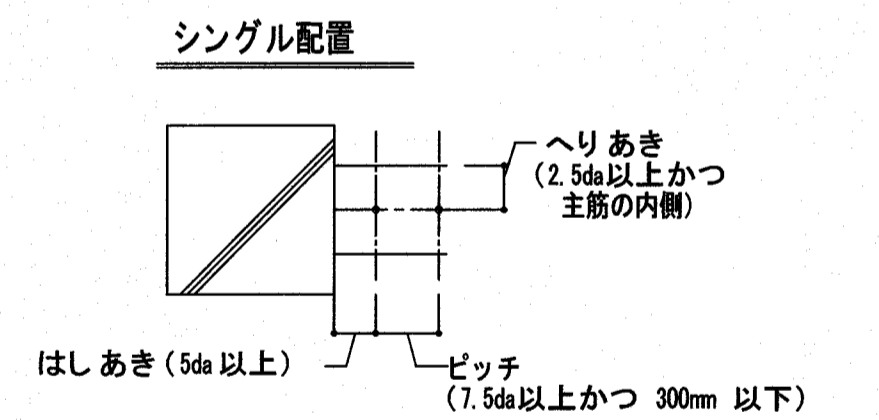
注記 特記なき限り下記による

1. コンクリート強度 $F_c 24N/mm^2$ スランプ18cmとする。
2. 使用鉄筋は、6φ: S235、D16以下: S235、D19以上: S345とする。
3. は既存躯体を示す。
4. あと施工アンカーは、ナット付きとする。
5. あと施工アンカーは接着系とし、接着剤の品質は有機系とする。
6. あと施工アンカーの打設部位については、既存躯体の鉄筋位置を調査する事。
7. 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。

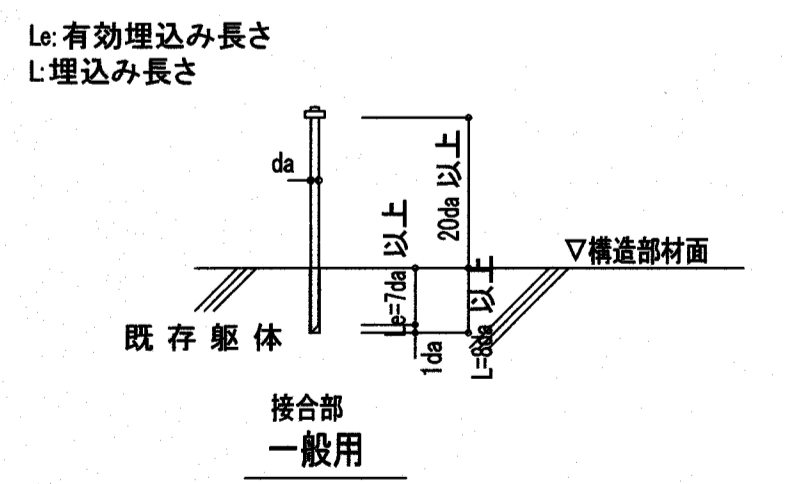
フレア溶接継手要領図



あと施工アンカー間隔



あと施工アンカー定着・埋込み長さ



受注者

株式会社日産技術コンサルタント
 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (チ) 第10818号
 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311
 管理技術者 国松 幹央 一級建築士登録 第229478号

工事名

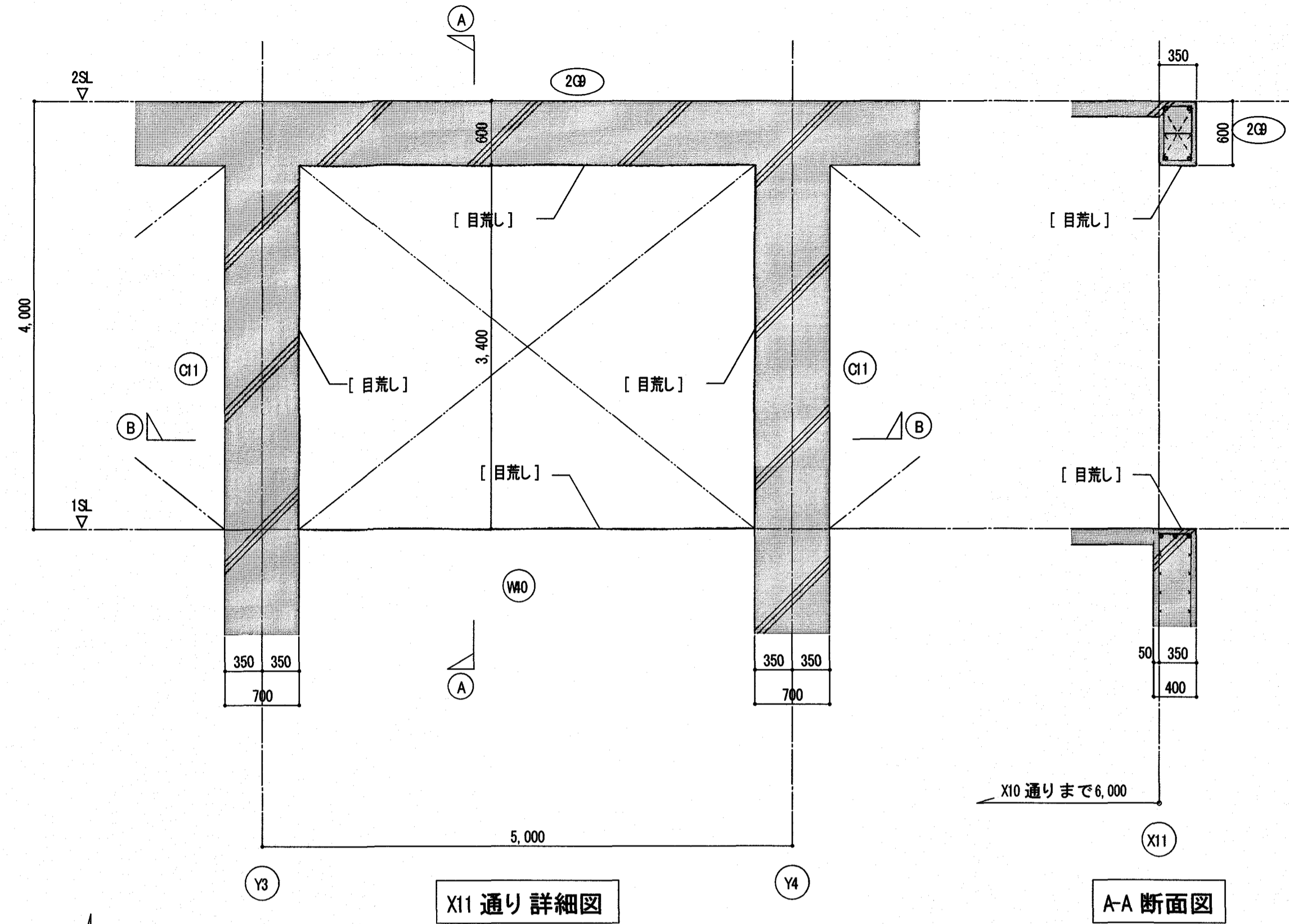
潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事 (R6-1)

図面名 補強詳細図 (16)

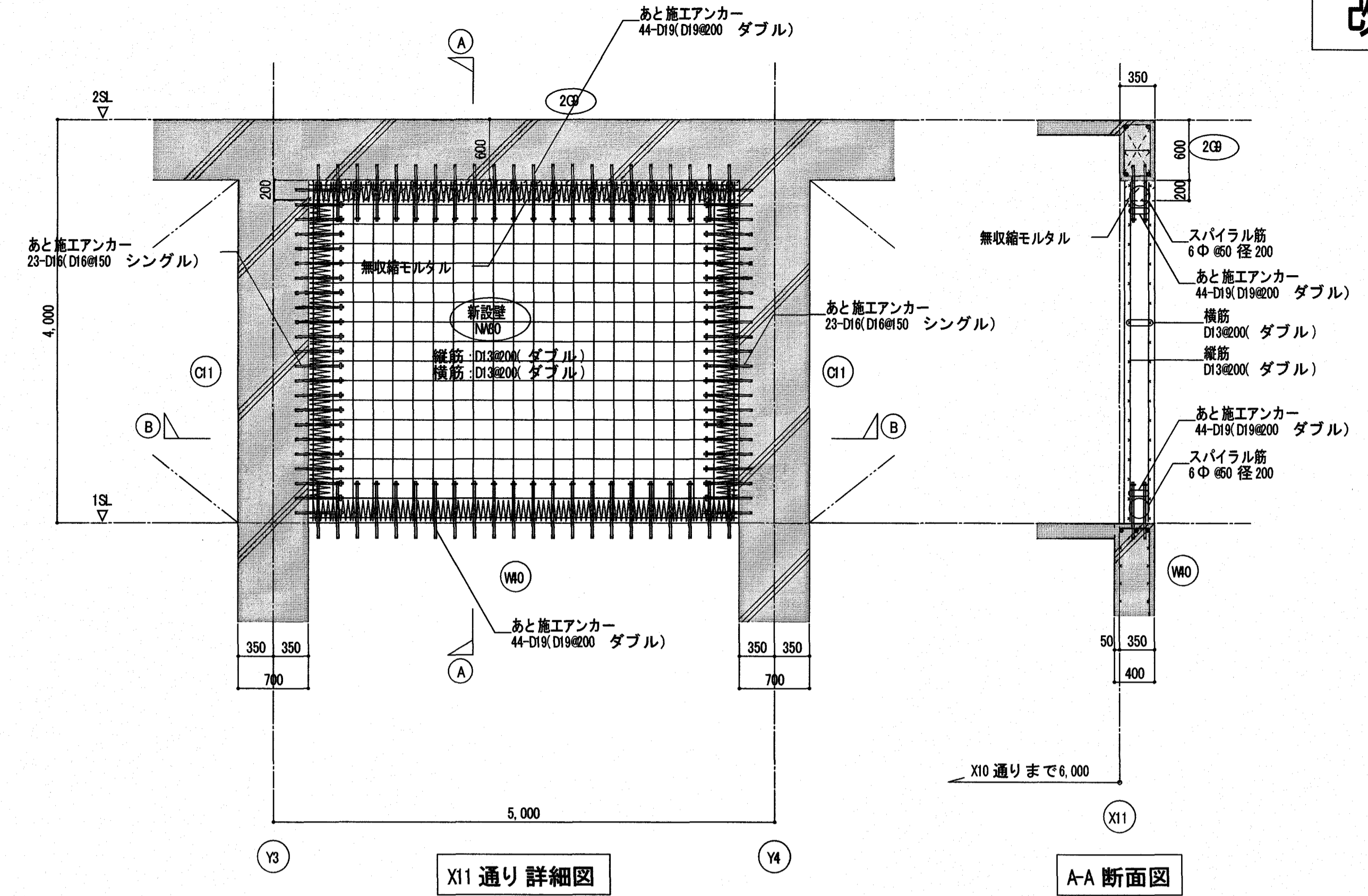
縮尺 1/40

係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				S-41
作図	年	月	日	

改修前



改修後



既存柱リスト

符号	C1
位置	1階
断面	700x700
Dx × Dy	700x700
主筋	12-D25
フープ	□-D13φ100
備考	

既存大梁リスト

符号	CB	
	位置	端部 / 中央
位置	2階	
断面	B × D	
上端筋	3-D25	2-D25
下端筋	2-D25	2-D25
スタラップ	□-D10φ150	
腹筋	2-D10	
備考		

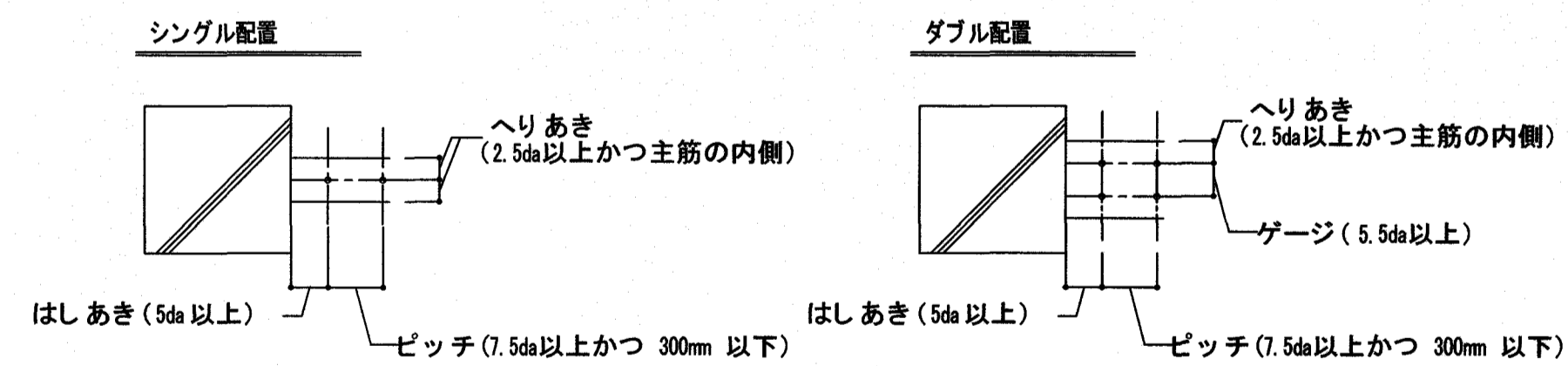
既存壁リスト

符号	W2, W0	
	位置	全断面
位置	断面	
断面	150	400
縦筋	D10φ250(シングル)	D13φ200(ダブル)
横筋	D10φ250(シングル)	D13φ200(ダブル)
巾止め筋	-	-
備考		

注記 特記なき限り下記による

1. は既存躯体を示す。
2. は撤去範囲を示す。
3. [] 内は、改修内容を示す。
4. 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。

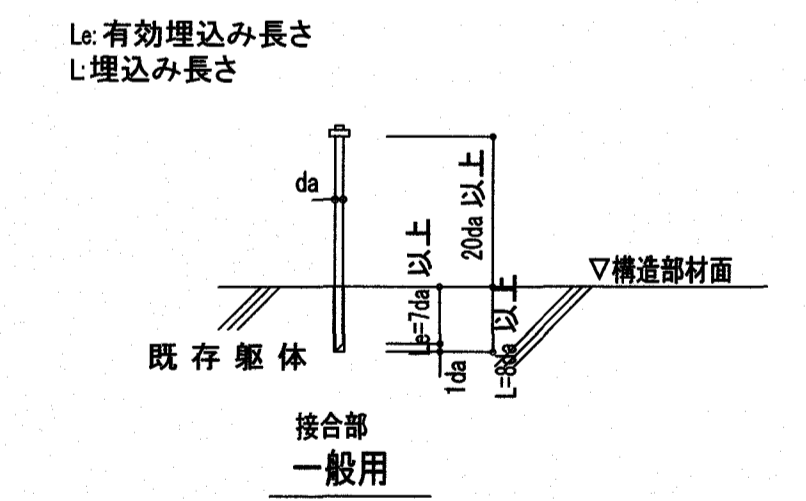
あと施工アンカー間隔



注記 特記なき限り下記による

1. コンクリート強度 $F_c 24N/mm^2$ スランプ18cmとする。
2. 使用鉄筋は、6φ:SR235、D16以下:SD295、D19以上:SD345とする。
3. は既存躯体を示す。
4. あと施工アンカーは、ナット付きとする。
5. あと施工アンカーは接着剤とし、接着剤の品質は有機系とする。
6. あと施工アンカーの打設部位については、既存躯体の鉄筋位置を調査する事。
7. 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行うこと。
8. 「新設壁W60」補強について、X11通りのY2-Y3通り間についても本図面と同要領とする。

あと施工アンカー定着・埋め込み長さ



受注者 株式会社日産技術コンサルタント
 一級建築士事務所 大阪府知事登録(チ) 第10818号
 大阪府中央区南久宝寺町 3-1-8 TEL.06-6243-2311
 管理技術者 国松 幹央 一級建築士登録 第229478号

工事名 潮江水再生センター場内分合流雨水ポンプ棟耐震改修工事(R6-1)
 図面名 補強詳細図(17) 縮尺 1/40

保 係長 課長補佐 課長 図面番号
 S-42
 作 年 月 日